

1 今年度の方針

まず、本研究所の目的である「新しい教育の創造と実践的な教育研究を通して、東京都の教育の充実と発展に寄与する」ため、研究開発部は一水会会員の先進的な「教育実践」「学校園経営」「提言」等を「学校園経営論文」「教育実践論文」として募集・評価・指導・発表・表彰を計画し、実施することを基本に据える。

そして、これまでは改訂学習指導要領及び中央教育審議会の答申を受け、「学習指導要領の具現化への支援」「令和の日本型学校教育の具現化」及び「学校を担うミドルリーダーの育成」に向けた視点を踏まえた内容を優先して評価してきた。

今年度は、中央教育審議会が答申した「次期教育振興基本計画」のコンセプトの一つである「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」に着目し、特に「学校のウェルビーイング」の実現への支援を方針とした「個別最適な学びと協働的な学びの具現化」及び「学校を担うミドルリーダーの育成」に向けた視点を踏まえた内容に絞っていく。

そのために、

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの具現化と、ミドルリーダーの育成に向けた経営または実践論文
- ② 自らの教育課題を設定し、解決策を示した研究論文
- ③ 自校園の課題解決に、具体的方策を示した経営または実践論文
- ④ 学校園経営方針の成果と課題を具体的に示した論文

など、いずれにしても会員が「欲しい情報」「活用できる」新たな教育課題に関する論文募集を目指す。

2 「経営・実践論文」募集方法

- (1) 「経営・実践論文」の意義を示す。→「研究所所報 78号」に掲載。
- (2) 全会員へ「論文」の募集について、個人応募と推薦応募の両面から周知する。
- (3) 推薦応募について
 - ア 各ブロック別支部長会〔4/20実施〕にて、先進的実践をしている会員を推薦していただく。（6ブロック各1名から2名 → 全体で最低6名以上）
 - イ 各ブロック内では、どの区市町村、島嶼等万遍無く、推薦できるよう、輪番の仕組みがまだのところを確認し、輪番表を作成して提示していく。

推薦論文	昨年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
幼稚園・こども園	墨田区	推薦できず	推薦できず	荒川区				
第一ブロック	目黒区	渋谷区	世田谷区	品川区	港区	中央区	千代田区	渋谷区
第二ブロック	北区	文京区	推薦できず	中野区	推薦できず	練馬区	板橋区	新宿区
第三ブロック	台東区	江戸川区6	葛飾区4	足立区	荒川区	墨田区	台東区	江東区
第四ブロック	調布市	府中市	稲城市	稲城市	狛江市	稲城市	狛江市	府中市
第五ブロック	羽村市	福生市	あきる野市	昭島市	日野市	八王子市	立川市	青梅市
第六ブロック	三鷹市	東大和市	小平市	東久留米市	西東京市	小平市	武蔵野市	武蔵村山市2

ウ 今までに論文を書いた経験を生かして再度チャレンジできる会員も推薦する。

エ 幼稚園・こども園部会より先進的実践をしている会員を推薦していただく。（1～2名）部会の方で輪番制も考えていただけるよう依頼する。

* 経験を積んでいるベテランの管理職の方々

* 昇任させたい教諭・主任教諭・主幹教諭・指導教諭・指導主事

* 昇任2～3年目の校長・副校長・園長・副園長

- (4) 提出締切までに応募がない場合は各ブロックと幼稚園・こども園部会へ再依頼する。

3 「経営・実践論文」評価方法

- (1) 研究所の全所員が9月26日の役員会で配布された論文1点1点について、評価票を基に、岩上賞候補欄・優秀賞候補欄・入賞候補欄のどれかに○を付け、評価・講評欄にコメントを記す。評価票の作成後、評価票を部長の方で回収する。
- (2) 部長の方で評価票集計一覧にまとめたものを基に、11月28日に参加役員で審査

する。

- (3) 審査に当たっては、各候補欄の○印を数値化し、下記の基準表を目安にして、それぞれの賞を決定する。

岩上賞候補欄の○・・・配点 10 優秀賞候補欄の○・・・配点 5 入賞候補欄の○・・・配点 1
評価者数 A 人として、配点の合計が A×6 以上・・・岩上賞候補 A×3 以上～6 未満・・・優秀賞候補 A×3 未満・・・入賞候補

4 活動日

4 月	1 1	木	研究所役員会 「組織・方向性・計画の確認」
	2 0	土	本部役員支部長会 「研究所全体計画の説明」 ブロック別支部長会 「論文募集に向けて推薦会員の依頼」
5 月	1 8	土	本部総会 「研究所事業計画提案・承認」
	2 3	木	研究所所員全体会 「研究開発部年間計画提案」
6 月	1	土	本部役員支部長会 「論文の個人応募・推薦応募要項説明」
8 月	2 4	土	本部役員支部長会 「論文募集に向けて推薦結果報告」 ブロック別支部長会 「進捗状況の確認」
	3 0	金	論文応募提出締め切り
9 月	2 8	木	研究所役員会 「論文の配布・審査依頼」 *論文が不足の場合は、所員が個別に論文作成依頼。
1 1 月	9	土	本部役員支部長会 「論文の提出経過報告」
	2 8	木	研究所役員会 「評価・講評」「論文審査」
1 月	1 1	土	本部役員支部長会 「論文の審査結果報告」
	2 4	金	本部新年会 「論文表彰」
2 月	2 2	土	本部役員支部長会・特別研修会 「口頭発表」
3 月	6	木	研究所役員会 「年度末反省・新年度計画」

5 表彰

- 本部新年会(令和7年1月24日(金))の中では表彰式を行う。
- 岩上賞および優秀賞の受賞者には、賞状(筒)と賞品(図書カード)を贈呈する。賞状(筒)と賞品の経費については部費から予算計上する。また、入賞者全員には賞状を贈呈する。

6 紙上発表

- 『雄飛・第55集』…全文掲載(優秀賞以上の論文を対象)する。
- 『研究所所報・第80号』…概要と寸評を掲載(入賞以上の論文すべて)する。

7 研究開発部名簿

部長	安齋 正彦
部長補左	山岸 一義
副部長	近藤新太郎

8 ブロック支部の研究所担当について 【 】：本年度担当役員

I 近藤 新太郎【児玉大祐・小牧来太】千代田・中央・港・品川・世田谷・渋谷・目黒・大田

II 山岸 一義【山口麻衣・田中 明】新宿・文京・中野・北・杉並・板橋・練馬・豊島

III 安齋 正彦【佐香哲哉・吉田佳代】台東・墨田・江東・荒川・足立・葛飾・江戸川・島嶼

IV 大原 龍一【奥明廣】府中・調布・町田・小金井・国分寺・国立・狛江・多摩・稲城

V 同 【 同 】 八王子・立川・青梅・昭島・日野・あきる野・西多摩・羽村・福生

VI 佐藤 伸彦【井口修・上松久美子】武蔵野・三鷹・小平・清瀬・東村山・西東京・東大和・東久留米・武蔵村山

以上